

(参考) 各ワーキンググループ (WG) の開催状況と議論の概要

陸域対策WG

第1回 平成24年3月29日 18:00-19:30 (於: 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター)
事務局: 石垣市環境課、石垣自然保護官事務所

主な参加者: サンゴ礁基金事務局、八重山青年会議所、石垣島赤土監視ネットワーク、八重山サンゴ礁保全協議会、沖縄県土地改良事業団連合会、石垣市観光協会、沖縄県(農林水産整備課、八重山福祉保健所、八重山土木事務所)等(21名)

概要: WGのあり方、進め方について議論。「石西礁湖自然再生行動指針(陸域対策)」に示される取組から始めてみることにし、WG全体で動くというより、グループに分かれて、リーダーを作ってその人を中心に進めていくやり方がいいのではないかの考えが示された。また、参加者が個別に実施している取組についての紹介があり、WGがそういった活動への助言の場としても機能することが期待された。

(その後) 平成24年5月10日: 宇都宮大大澤准教授による赤土対策講演勉強会を実施。

海域対策WG

第1回 平成24年4月5日 18:00-19:30 (於: 八重山漁業共同組合会議室)

事務局: 八重山漁業協同組合、石垣市水産課、石垣港湾事務所、石垣自然保護官事務所

主な参加者: 八重山ダイビング組合、石垣島マリレジャー協同組合、竹富町ダイビング組合、竹富町企画財政課、石垣市環境課、沖縄県自然保護課、沖縄県水産海洋研究センター、西海区水産研究所等(25名)

概要: WGのあり方、進め方について議論。海域対策WGの取組例として、オニヒトデ対策、水産資源管理、海域の適正利用があるが、分野も多岐にわたるので関係する者が小グループを作って進めていく方針が示された。また、再生協議会と独立して存在したオニヒトデ協議会を今後、海域対策WGの小グループとして取りこみ、協議会で情報共有を図ることとした。

(その後) 平成24年5月17日及び9月7日: オニヒトデ対策小グループを実施。

普及啓発WG

第1回 平成24年4月23日 18:00-19:30 (於: 国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター)

事務局: 石垣自然保護官事務所

主な参加者: わくわくサンゴ石垣島PT、サンゴSONGS実行委員会、サンゴ礁基金事務局、竹富町ダイビング組合、八重山マリレジャー事業協同組合、八重山サンゴ礁保全協議会、石垣市(環境課、教育委員会)、沖縄県(八重山農林水産振興センター、八重山事務所)等(18名)

概要: WGの進め方については、幅広いテーマで、個々で行っている、もしくは行おうとする活動の情報交換や、バックアップの場とすることとした。石垣島内の小学校へのサンゴ学習プログラムの実施等をおこなう「わくわくサンゴ石垣島プロジェクト」及びサンゴ礁基金普及のための地元向けイベント「サンゴSONGS」について紹介、議論。また、普及啓発の行動計画について、これまでまとめたものを次回のWGで提示し、今後どう取り組んでいくか話し合っていくこととした。

(その後) 平成24年7月15、16日: 「石垣港みなとまつり」にて「サンゴSONGS」イベント実施。「わくわくサンゴ石垣島」についても継続中。